

平成 28 年度日本遮水工協会総会開催

平成 28 年度の総会を下記にて開催いたしました。平成 27 年度は東日本大震災関連の仮置場の維持管理、中間貯蔵施設の遮水工のあり方について多くの時間を費やしました。

総会に続いて、研究発表会、懇親会、今までにない盛況で、各会員の熱意は遮水工のプロとして、今まで以上に貢献していく事を約束した会となりました。

★研究発表会

・遮水シート融着機の検定制度

製品の認定、施工の資格制度につきましては、既に、各方面に評価を頂いておりますが、更に、重要である融着機検定制度の検討を進めてきました。この程、体制が整いましたので、5月からスタートの発表を行いました。

・仮置場の維持管理

期限 3 年で設置された仮置場、既に、5 年経過しており、いろいろの課題が出ています。これからの維持管理をどうしていくかの検討結果です。是非、強力に進めて行きたいと思えます。

・多重安全について

多重安全材料として、GCL、高分子系膨潤材を扱っています。これらを今後どう扱っていくかの内容です。

・中間貯蔵施設の遮水工について

3/30 環境省より要求水準が打ちだされました。この間、遮水工のあるべき姿を訴えてきましたが、更に、内容を精査し、訴えていく予定です。

